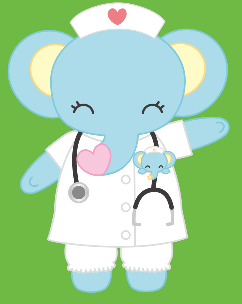
堺市立総合医療センターと市民の健康をつなぐ広報誌

ぞうさん広場

vol.12
2017夏号



公式マスコットキャラクター
「エバちゃん」

インタビュー特集

市立病院として地域の安心・安全を担う 新体制で挑む 歯科口腔外科の取り組み

看護師の活動紹介 トリアージナース
コメディカルの紹介 歯科衛生士
当院からのお知らせ 無料送迎バスのご案内
がんセンター特集 放射線治療 ～骨転移を見逃さない!～
チーム医療の活動 周術期管理チームにおける口腔機能管理
登録医紹介
こんにちは赤ちゃん
健康食のススメ

地方独立行政法人 堺市立病院機構
堺市立総合医療センター
SAKAI CITY MEDICAL CENTER

ぞうさん広場 ｜ 第12号 平成29年6月1日 発行 ｜ 発行 堺市立総合医療センター 〒593-8304 大阪府堺市西区家原寺町1丁1番1号 ☎072-272-1199(代)

こんにちは赤ちゃん
当センターでたくさんの赤ちゃんが産まれています!

凜(りん)ちゃん
平成29年2月4日生

♥welcome♥

りんちゃん、パパもママもお兄ちゃん二人も、みんな会えるのを楽しみにしていました!お兄ちゃんたちに揉まれて…元気にすくすく育ってね!

碧士(あおし)くん
平成29年2月8日生

♥welcome♥

碧士、産まれてきてくれてありがとう!日々の変わる表情に皆、癒されています。これからも元気いっぱいに育ってね!!

果梨(かりん)ちゃん
平成29年2月9日生

♥welcome♥

パパママお姉ちゃんお兄ちゃん。皆、かりんが大好き♡いつも家族に笑顔をありがとう!!これからも元気で可愛い女の子に育ってね(^^)

直生(なお)くん
平成29年2月20日生

♥welcome♥

元気に生まれてきてくれてありがとう。直生の百面相をついおもしろがってしまいます。これからもすくすく育ってね!

健康食のススメ

夏バテ予防に

豚肉とにんにくの芽のさっぱり炒め

豚肉は疲労回復が期待できるビタミンB1が豊富です。ビタミンB1は玉ねぎ・にんにく(にんにくの芽)に含まれるアリシンと一緒に摂ることで吸収がよくなり、また長持ちします。さらにクエン酸を含むお酢を使ってさっぱりと食べやすく仕上げました。

お酢でさっぱり!
夏にピッタリ!

栄養価(1人分)	
エネルギー	223kcal
塩分	0.8g

材料(2人分)

豚ロース……	100g	減塩しょうゆ……	大さじ1 (A)
玉ねぎ………	1/4個(50g)	砂糖………	大さじ1/2 (A)
にんじん………	3cm(50g)	酢………	大さじ1/2 (A)
にんにくの芽…	1/2束(50g)	料理酒………	大さじ1/2 (A)
ごま油………	小さじ1		

【作り方】

1. 豚ロース・にんにくの芽・にんじんは食べやすい大きさ(3cm幅程度)に、玉ねぎはくし切りにする。
2. フライパンにごま油を熱し、豚ロース、玉ねぎ、にんじんを加え、肉の色が変わるまで炒める。
3. にんにくの芽と、混ぜ合わせたAを加え、汁気が少なくなるまで2～3分炒めれば完成。

栄養管理科 林 佑紀

地方独立行政法人 堺市立病院機構
堺市立総合医療センター
SAKAI CITY MEDICAL CENTER
〒593-8304 大阪府堺市西区家原寺町1丁1番1号 ☎072-272-1199(代)
http://www.sakai-city-hospital.jp/

インタビュー特集

市立病院として地域の安心・安全を担う
新体制で挑む歯科口腔外科の取り組み

よりよい医療の提供をめざし、昨年より常勤医の増員などで診療体制を強化してきた歯科口腔外科。口腔がん治療の取り組みや今後の展望について、話をお伺いしました。

左から：
歯科口腔外科 副部長　上田 貴史 医師
歯科口腔外科 部長　小倉 孝文 医師
歯科口腔外科 副医長　牛村 彩子 医師

歯科口腔外科で扱う疾患を教えてください。

当科は日本口腔外科学会の認定専門治療機関で、口腔領域の外科を専門とした診療科です。対応疾患で一番多いものは、口腔腫瘍・のう胞です。次いで顎顔面の骨折などの外傷で、噛み合わせなどの機能面を重視して治療します。そして、歯茎だけでなく顎や頬まで広がった炎症や歯が原因の蓄膿症、唾石やガマ腫などの唾液腺疾患、口内炎やヘルペスなどの粘膜疾患や種々の顎関節疾患を扱います。顎関節症については専門外来を設けています。それ以外にも、地域の先生からの手術依頼や、心疾患、脳梗塞などの病気をお持ちの方の歯科治療に対応しています。また、がん患者さんへの「周術期口腔機能管理」という口のケアも行います。

特長や強みは何ですか？

一番の強みは、総合病院としての対応力です。当院全体の特長とも言えますが、各科との連携が活発で、それぞれが協力することで治療効果が高まります。また、外来は予約中心の初診体制のため患者さんへの説明時間をしっかり取ることができます。さらに、地域の先生からの紹介予約枠では初診当日に外来小手術を行い、洗浄や抜糸、経過観察などはかかりつけの歯科医院で行ってもらいます。このシステムは、来院回数が少なくなるため患者さんの負担が軽くなります。そして、平成28年4月より常勤医が3名体制になり、口腔がんの治療を積極的に行うようになりました。

口腔がんについてお聞かせください。

口腔がんとは口の中およびその周辺組織にできるがんのことで、舌や上顎下顎、歯茎や頬粘膜などにできます。口腔がんは全身のがんのうち約1％ほどの比較的少ないがんで、最初の症状としては口内炎が治らない、大きくなってくる、腫れが引かないなどです。進行すると首のリンパ節などに転移し首が腫れたり呼吸が辛くなるなどの症状も出てきます。原因ははっきり分かっていませんが、喫煙や多量の飲酒も関与していると考えられています。また、歯並びの関係で舌に慢性的な刺激が加わることも原因の一つと言われています。治療については進行具合によりますが、完治をめざす場合は手術が必要になります。

術後の処置や対応は？

口腔がんに限らずがんの治療は、院内のさまざまな科が連携していくつかの治療を組み合わせて行う「集学的治療」が効果的です。例えば放射線治療や、術後の整容面での回復には形成外科の協力が必要ですし、隣接領域として耳鼻咽喉科・頭頸部外科と連携して治療を行います。また、各専門および病棟の看護師・薬剤師によるサポートや、言語療法士や理学療法士によるリハビリでは手術前から介入します。口の中の欠損や手術では歯科衛生士の専門的口腔ケアで術後合併症の予防を図り、噛み合わせの回復では歯科技工士が治療を助けてくれます。このように、さまざまな職種が集まって合同カンファレンスを開き、チーム医療によってよりよい治療をめざしています。

地域の医療機関との連携についてはいかがですか？

地域の先生方にアンケート調査をして求められているものを常に把握するよう心掛けています。おかげさまで、歯科の連携登録医は251ヵ所と、他の総合病院に比べて非常に多いです。また、がん患者さんの周術期口腔機能管理も地域の先生と連携して行っています。これは非常に評価していただき、平成27年の「第2回がん診療医科歯科連携推進協議会」で報告いたしました。

今後の目標・課題は？

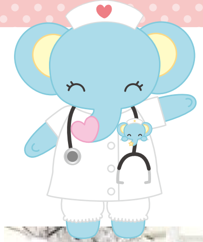
当院は三次救急医療機関と災害拠点病院に指定されていますので、外傷患者さんへの対応もさらに充実させたいです。また、地域がん診療連携拠点病院として、口腔がん患者さんの受け入れの拡大も考えています。そして、今後重要となる地域包括ケアシステムの在宅歯科医療連携体制において、当院の役割を明確にすることが今後の課題です。

地域の医療機関や皆さんにメッセージをどうぞ。

行政機関や他医療機関との連携を強化し、国の医療体制を加味しながら、安心・安全で親切なサービスを心がけています。常勤の専門医が増え、口腔がん治療の体制も充実してきました。口腔領域でお困りのことがあれば当院にご紹介、ご来院ください。

看護師の活動紹介

緊急医療の現場に欠かせない存在です！



「トリアージナース」

当院は、平成27年7月の移転とともに、**堺市で唯一となる救命救急センターを開設**し、重症の外傷患者さんやあらゆる合併症を持つ内因性重症患者さんを受け入れることが可能となりました。

平成28年度の**救急搬送数は約9,200件**、救急車を使用せずに救急外来を受診する**ウォークインの患者さんは約1万4,000人**に上ります。軽症から重症まで多くの患者さんが来院する救急外来においては、**緊急度や重症度の高い患者さんを優先**して、速やかに診察や治療を行う必要があります。

院内トリアージとは

トリアージというと、災害医療をイメージされる方が多いと思います。トリアージとは、大事故、大規模災害など多数傷病者が発生した際に医療体制・設備を考慮しつつ、傷病者の重症度と緊急度によって分別し、治療の順位や搬送先を決定することです。

院内トリアージとは、個々の医療機関が主体となり、専任の医師または看護師が患者さんの状態を評価し、緊急度区分に応じて診療の優先順位付けを行うことです。当院では、トリアージナースと呼ばれる看護師がその役割を担い、判定の際はＪＴＡＳ（緊急度判定支援システム）を用いています。ＪＴＡＳは、来院10〜15分以内で客観的かつ体系的に、第一印象の重症感や来院時主訴、バイタルサイン（※）などに基づき5段階に分けて緊急度を判定します。

（※）心拍数・呼吸・血圧・体温

院内トリアージの流れ

患者さんが救急外来を受診すると受付で問診票を記入していただきます。トリアージナースは問診票をもとに、必要な情報を再度確認し、血圧や体温などを測定します。その内容をＪＴＡＳにより緊急度を判定します。緊急度が高いと判断された場合には、速やかに医師に報告し治療を開始するように調整します。

受付で問診票記入 ▶ 血圧や体温などを測定 ▶ ＪＴＡＳにより緊急度を判定 ▶ 医師に報告し、治療開始

トリアージナースの役割と育成

救急外来の現場は、時間の猶予が許されず、少しの変化や異常を見逃すと生命を脅かすことになります。そのため、患者さんの状態を見極める洞察力と的確に判断して行動できる十分な知識と経験が必要です。また、医療チームが円滑に作動できるような連携、調整能力や、患者さんやご家族の対応など幅広いコミュニケーション能力が大切になります。

このように重要な役割を担うトリアージナースは、公益社団法人日本看護協会の審査に合格した救急看護認定看護師を中心として、シミュレーション教育や事後検証会を行いながら、日々育成しています。

救急外来には、さまざまな症状を持った多くの患者さんが来院されます。緊急度の高い患者さんを優先するため、診察までお待たせすることがあるかと思いますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

救命救急センター
日南川 喜恵

地域医療を支える コメディカル

コメディカルとは医師と看護師以外の医療従事者のことで、それぞれの専門分野で医療に携わっています。
医師・看護師とチームを組み、よりよい医療の提供のために欠かせない存在です。

歯科衛生士

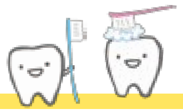
ご自身の口で美味しく食べて健康に長生きするために、歯と口の健康は欠かせません。歯科衛生士は歯周病やむし歯など歯科疾患予防のための**歯科保健指導**や誤嚥性肺炎※などの**全身疾患予防のための専門的口腔ケア**を実施し、**身体の入りロである口のケアを通じて全身の健康づくりをサポート**しています。

（※）食べ物や唾液などが気管から肺に入ってしまい細菌が繁殖する病気

当院の歯科衛生士の業務

当院の歯科衛生士は、さまざまな業務に取り組んでいます。入院患者さんには感染や誤嚥性肺炎の予防などを目的とした専門的口腔ケアを病棟に出向いて実施しています。また、全身麻酔手術の術前、術後や抗がん剤治療を受けられる患者さんの口腔衛生指導、専門的口腔ケアにも取り組んでいます。そして、歯科口腔外科外来では、一般の歯科医院で治療が困難な症例の診察や外来手術の診療補助を口腔外科医師の指示のもと行っています。

今回は「専門的口腔ケア」「チーム医療」の2つを取り上げます。

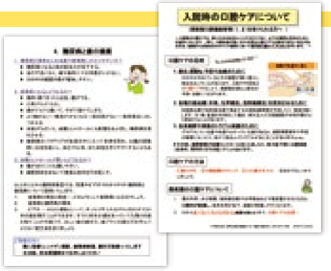


仕事例① 口腔環境を整える「専門的口腔ケア」

専門的口腔ケアとは歯科専門職が行う口腔清掃のことです。適切な口腔清掃のアドバイスや日常的には清掃できない部位の歯面清掃を行います。

例えば口の中が汚れていると、その細菌が侵入し肺炎を起こすことがあります。口腔ケアを実施することで、細菌数を減らし肺炎の予防、治療につながります。また、全身麻酔で口や喉、食道などの手術をした場合、飲み込んだ唾液に含まれる口腔細菌による手術の傷口からの感染を予防することや、抗がん剤治療で発症する口腔粘膜障害の予防や程度を軽くするなど、がん治療の支持療法の一つになっています。

仕事例② 患者さんを支える「チーム医療」



糖尿病療養支援チーム

糖尿病療養支援チームの一員として、患者さんに対し口の健康と全身との関わりについてや、口腔疾患予防や生活習慣の改善を目的に「口と糖尿病」について説明しています。その他年1〜2回、市民健康講座「歯と健康について」の講師を担当しています。

栄養サポートチーム

誤嚥性肺炎の予防や安全に経口摂取ができるようになるため、患者さんの日常生活動作、生活全般についての満足感や幸福感の維持向上に重要といわれている口腔機能訓練や専門的口腔ケアで支援しています。

周術期管理チーム

全身麻酔下で手術を受ける患者さんに対し安心安全に挿管※できるように、そして口腔内環境の維持向上を目的に、専門的口腔ケアに取り組んでいます。 （※）気管に口または鼻から咽頭を経由して気管内チューブ挿入を行う気道確保の方法

呼吸ケア・リハビリテーションチーム

患者さんの呼吸器ケアをサポートするチームの一員として、口腔内環境の維持向上に必要な提案および専門的口腔ケアで支援しています。

当院からのお知らせ

送迎バスをご利用ください

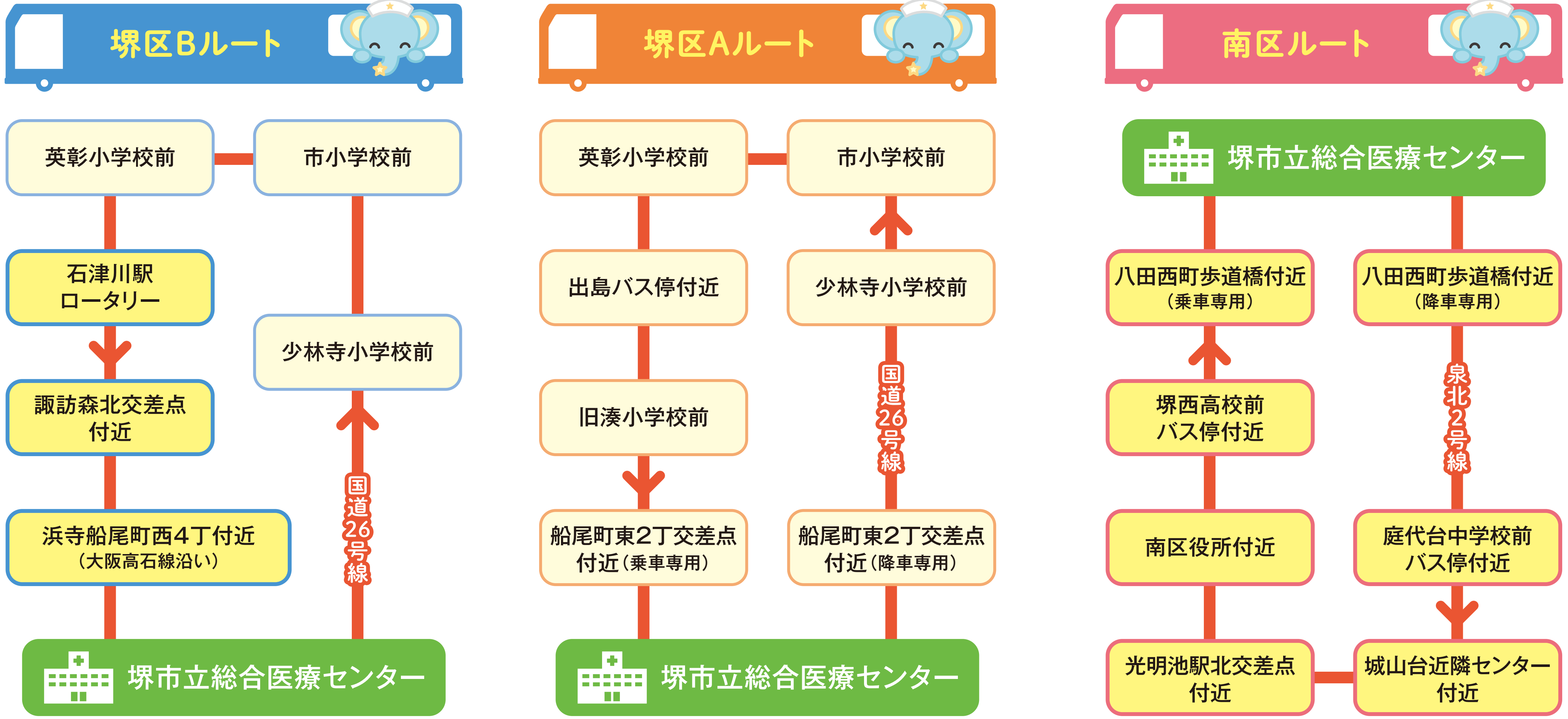
当院へご来院される患者さんやご家族の利便性向上のために、堺市堺区方面に送迎バスを運行しております。

平成29年6月5日(月)より、新たに南区方面の路線として栂・美木多駅、光明池駅付近を中心とした「南区ルート」を設定し、6月12日(月)からは堺区方面の路線として、西区の浜寺石津、諏訪ノ森付近を経由する「堺区Bルート」を拡充いたします。

送迎バスは平日の月曜日～金曜日に運行し無料でご乗車いただけますので、当院にお越しになる際は、ぜひご利用ください。

【運休日　土・日曜日、祝日、年末年始(12月29日～1月3日)】

ルートが増えてさらに便利に!



は平成29年6月以降、新設される発着場です。

各ルートの運行ダイヤ（時刻表）については、病院ホームページ、院内掲示等でご案内しております。発着場の詳細などご不明な点はお問い合せください。

ご利用時の注意事項

- 発着時刻は、天候その他交通事情により、予定よりも遅れる場合があります。
- 発着場以外での乗降はできません。
- 座席のみのご利用となりますので、満員の場合は事故防止・安全確保のために乗車をお断りする場合があります。
- 車椅子でのご乗車は、安全ロックやリフト機能が無いため、ご遠慮いただいております。
- 船尾町東2丁交差点付近（降車専用）は時刻設定をしておりません。
- ご来院の目的以外で利用することはご遠慮ください。
- 時刻表、送迎ルート、発着場などは変更となる場合もあります。その際は院内掲示やホームページにてお知らせいたします。

ご不明な点については、
堺市立総合医療センター管理課まで
お問い合わせください。

お問い合せ先
堺市立総合医療センター 管理課
072-272-9958（直通）

当院の登録医の先生をご紹介

南区桃山台
桃山台山本内科
山本 圭 院長

◆当院の特長

当院は、43年前の昭和49年に泉北栂・美木多地区で、先代である父が内科を開業し、私が引き継ぎました。私自身、泉北ニュータウンで子供時代を過ごしており、栂地区が開発されてからの患者さんや、そのお子さんの中には私の同級生の方などもいらっしゃいます。今後も、地域に根差した医療を大切にしていきたいと考えております。

◆私の診療モットー

現在も医療は日々進歩しているため、常に学会や講演会などでの情報収集に気を配っています。また、泉北地域の内科だけでなく、その他の科との情報交換を図り、診診連携を推進しています。診療所での対応が困難で、専門的な治療が必要な場合には、堺市立総合医療センターの先生およびスタッフの方々とも連携し、患者さんにとってより良い医療を提供できるよう努力していきます。

◆地域の皆さんへのメッセージ

当院は、患者さんと共に考え一緒に歩める診療所でありたいと思っています。これからも皆さんが健康に過ごせるように、また、そのお手伝いができればと考えますので、当院受診の際には、いつでもお気軽にご相談ください。

診療科目／内科

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00～12:00	○	○	○	○	○	○	／
17:30～19:30	○	○	○	／	○	／	／

堺市南区桃山台4-2-6
★泉北高速鉄道線「栂・美木多駅」より徒歩約15分
TEL:072-299-3165

北区百舌鳥梅町
北野医院
北野 年弘 院長

◆当院の特長

当院は、地域の方々にとって「医療界のコンビニエンスストア」のような存在です。つまり、地域の皆さんが何かしら身体の不調で困った時に、気軽に頼れる身近な医院として歩んできました。そのためにも、専門は外科ですが、それ以外の疾患の方にも来ていただけるように、診療の間口を広くしてなるべく多くの科を受け入れるようにしています。

◆私の診療モットー

当然のことですが、誤診をしないことです。例えば、患者さんを連携している総合病院などに紹介する場合、状態を正確に判断し、患者さんや総合病院のためにも、適切なタイミングで紹介することを心がけています。そのためには、患者さんとたくさん話をして、病気の症状を見逃さないことが大切です。どんな些細な相談にも耳を傾けることをモットーに、診療にあたっています。

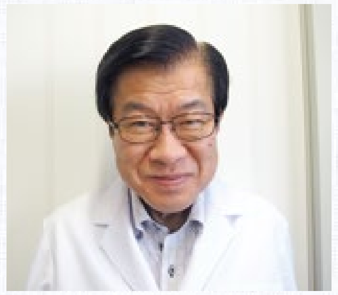
◆地域の皆さんへのメッセージ

開業から今年で28年目を迎え、祖父母の代からお孫さんまで診させていただいているご家庭もあるなど、地域に根差した医療を提供してきました。これからも、ご家族の皆さん全員を診られる地域の主治医として、地域の皆さんとの繋がりを大切にしていきたいです。

診療科目／外科、胃腸科、肛門科、整形外科、リハビリテーション科

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00～12:00	○	○	○	○	○	○	／
16:30～19:00	○	○	／	○	○	／	／

堺市北区百舌鳥梅町1-9-13
★南海高野線「中百舌鳥駅」より徒歩約5分
TEL:072-258-6720



西区上野芝町
はるお内科クリニック
玉置 治夫 院長

◆当院の特長

総合病院以外では専門的に扱うことが少ない、甲状腺疾患を中心とした内分泌疾患、糖尿病などの代謝疾患を専門に診療を行っています。甲状腺疾患で代表的なのが、バセドウ病と橋本病で女性に多く見られます。特に妊娠や出産をきっかけに発症・悪化することが多いため、近隣の産科の先生方と連携して、甲状腺疾患合併妊婦さんの臨床経過を診ています。

◆私の診療モットー

内分泌疾患の分野は、最近テレビで取り上げられることもあり、患者さんが疾患についてある程度知識を持っておられることもありますが、誤解されていることもよくあります。疾患によっては、長期にわたる根気強い治療が必要となります。患者さんに疾患を正しく理解していただくために、わかりやすく、また納得のいくように説明することが大切だと考えています。

◆地域の皆さんへのメッセージ

内分泌代謝疾患や老年病の分野における経験を活かし、患者さんが気軽に専門的医療を受けられるクリニックでありたいと考えています。さらに、近隣の総合病院などと連携して幅広い疾患に対応すると共に、患者さんの日常の些細な健康上の不安にも対応できる、地域のかかりつけ医としてもがんばっていきたいと考えます。

診療科目／内科、内分泌代謝内科、甲状腺内科

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00～12:00	○	○	○	○	○	○	／
16:30～19:00	○	／	○	／	○	／	／

堺市西区上野芝町3-3-24 上野芝メディカルシティ302
★JR阪和線「上野芝駅」より徒歩約2分
TEL:072-276-7575
http://www.haruo-cl.com/

西区上野芝向ヶ丘町
きたがわ医院
北川 友朗 院長

◆当院の特長

産まれ育った土地で開業し、今年で18年目になります。消化器内科・外科が専門ですが、やはり近年は高血圧や糖尿病、高脂血症などの生活習慣病の患者さんが増えていますので、柔軟に対応するようにしています。風邪などの内科的な分野から、特に高齢者に多い骨や皮膚の疾患まで、幅広く診療しています。また、地域の高齢化にあわせて往診などの在宅医療も積極的に行っています。

◆私の診療モットー

診察の際は、時間をかけて患者さんの話に耳を傾け、丁寧に病状や治療方針の説明をするようにしています。気になる症状について、話を聞いてもらうだけでも気持ちが楽になることがあります。例えば、血圧が気になって当院を受診され、併せて他の気になる症状の相談をされる患者さんもおられます。このように、地域の皆さんに親しまれる病院でありたいという思いで診療にあたっています。

◆地域の皆さんへのメッセージ

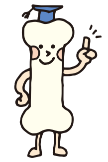
病気は症状が悪化する前に対処することが大切です。少しでも異変を感じたらすぐに受診してください。当院は、地域の皆さんが気軽に受診できるように、開放的な雰囲気づくりを心がけていますので、どんな些細なことでもご相談ください。

診療科目／胃腸科、外科、肛門科

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00～12:00	○	○	○	○	○	○	／
16:30～19:30	○	○	○	○	○	／	／

堺市西区上野芝向ヶ丘町6-16-53
★JR阪和線「上野芝駅」より徒歩約15分
TEL:072-281-3340

がんセンター特集 「放射線治療」～骨転移を見逃さない！～



放射線治療とは

がん治療の三本柱のひとつである放射線治療は、文字通り放射線を腫瘍に当てる「切らずに治す治療」です。がんの治療においては、外科手術、化学療法（抗がん剤治療）と並んで有力な治療法ですが、手術のように痛みを伴わず、抗がん剤治療と比べても治療中や治療後の患者さんの生活の質を良好に保ちながらの治療が可能です。

また、多発骨転移で疼痛を伴う患者さんに対しては、静脈注射治療であるメタストロン注を実施しています。

骨転移の危険性

悪性腫瘍（がん）は進行すると転移が生じます。転移とは、がんが発生した場所から別の臓器や器官に移動することです。骨への転移は痛みの持続だけではなく、骨折や脊髄・神経圧迫の危険性を伴うこともあります。大腿骨骨折では寝たきりに、脊髄神経圧迫では下半身麻痺になるなど、いずれもその後の生活に大きな支障をきたします。そのため、がんの骨転移を見逃さないことが重要です。

骨転移の痛みの特徴

- □ 体を動かしたときに増強し、起き上がることができない
- □ 夜間に強く、安眠できない
- □ 1ヶ月以上持続する
- □ 保存的整形外科処置では改善がみられない　等

元々がんがあり、骨痛があれば骨転移を疑う必要があります。特に骨転移を起こしやすいのは肺がんや乳がんです。前立腺がんでは骨転移があっても痛みを伴うことが少ないため、自覚がない場合が多いです。また、骨転移で初めてがんが判明する原発不明がんということも珍しくありません。

骨転移の治療 ＝ 放射線が速く効く

疼痛治療は薬物やその投与方法も開発されており、2015年にはガイドラインも発刊されていますが、骨転移による痛みと診断したら放射線治療を治療の選択肢として考慮します。多くの治療法の中でも症状の改善率が70％以上と高く、また即効性があり、がんそのものの増殖を防ぎます。近年では状況に応じた放射線治療も普及しており、**1回だけの照射**、**4～5回照射**など、短期で治療を完了する施設が増えてきています。懸念される副作用は一時的であり、患者さんへの負担が比較的少ない治療です。

堺市立総合医療センターでの骨転移治療

強度変調放射線治療（IMRT）※などの高精度治療や症状緩和の放射線治療を行っているほか、緩和ケアチームが適応や薬物療法の相談を受け付けています。その他、多職種からなるチーム医療による治療を実施しています。

原発不明がん骨転移はキャンサーボード（専門的な知識及び技能を有する医師やスタッフによる会議）を開催して解決に導く対応をしています。

多発する骨転移の痛みには放射性医薬品・骨転移疼痛緩和剤メタストロン注（Sr-89）が、去勢抵抗性前立腺がんの多発骨転移には7月から当院で開始する放射性医薬品・抗悪性腫瘍剤ゾーフィゴ（Ra-223）も有効と考えられます。いずれも堺市内では当院が唯一の実施施設です。骨転移治療に関しては当院の整形外科または放射線治療科にご相談ください。

（※）コンピュータを利用し、照射野の形状を変化させたビームを複数用いて腫瘍の形に適した放射線の照射方法

医療チームの活動

周術期管理チームにおける口腔機能管理

口腔機能管理とは、口腔の環境や機能をコントロールすることで、さまざまな全身合併症の予防や治療に深く関与しています。たとえば糖尿病や肺炎、動脈硬化性疾患などは口腔細菌が関係していると言われ、飲み込みの障害である嚥下障害も口腔環境を整えるだけで改善することもあります。口腔機能管理は、歯科口腔外科が看護師、言語聴覚士、各科医師と連携して行っています。

今回は、手術に関連した周術期口腔機能管理についてご紹介します。

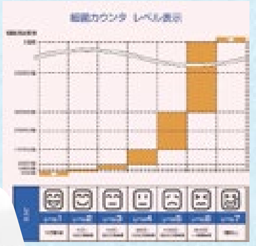
患者さんは全身麻酔下での手術が決まると、まず当院の総合サポートセンターまたは各科外来の看護師から口に関しての簡単な問診と指導があります。その後患者さんの状態に応じて、歯科口腔外科で手術前日や当日の朝、術後などに歯垢や歯石除去、粘膜ケアなどの口腔ケアを行っています。

◆ 全身麻酔を安全に実施するために ◆

全身麻酔の時には、口の中から肺の入口まで空気を送り込むチューブを入れますが、その際にグラグラする歯が抜け落ちたり、歯のかぶせものがはずれてしまったりするなどのトラブルが約0.3％の確率で生じることがあります。そうならないように動揺した歯を固定したり、その保護のためマウスピースの作成や抜歯を行ったりします。また、簡単な虫歯処置や炎症を抑える処置をすることもあります。

◆ 術後肺炎や誤嚥性肺炎の予防・治療のために ◆

術中や術後に口腔の細菌が原因で肺炎を起こすことが近年問題となっています。そのため口腔ケアを実施して口腔衛生状態を整え、口腔機能をコントロールします。術後早期に食事をしていただくために重要なことです。



◆ 術後創部感染予防のために ◆

口や咽頭、食道の手術では、口腔の細菌が術後創部に直接感染を起こすことがあります。口腔乾燥を回避して、細菌数を減らすことが大切です。

簡易口腔内細菌数測定装置
"細菌カウンタ®
（Panasonic社製）"

口腔機能管理は場合によって、かかりつけ歯科医と連携して行うケースもあります。地域と連携した当院が行う口腔機能管理の取り組みは全国から注目されており、平成27年2月に東京で開催した第2回がん診療医科歯科連携推進協議会でも報告され、医療の質が高いことが実証されています。

以上のように、当院では専門職による専門的口腔ケアの口腔機能管理を行っているため、対象疾患の治療を安心・安全に受けることができます。